



# 福火協 だより

第46号 2025.1

## 新年のご挨拶

福岡県火薬類保安協会 会長 才田 善之

令和7年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、本協会の活動に格別なご支援を賜り心より御礼申し上げます。

昨年は、元日に発生した令和6年能登半島地震や8月下旬の台風などの自然災害が全国各地に大きな被害をもたらすとともに、福岡県太宰府市の年間猛暑日数日の日本記録を更新するなど異常気象といわれる日が続いた1年でもございました。そのような中、7月下旬から開催されたパリ五輪、パラリンピックにおける日本代表選手の活躍や米国大リーグでの日本人選手の活躍から勇気と感動をもらった1年でもありました。

本協会では昨年2月下旬、協会事務所を福岡県土木会館（福岡市博多区千代）に移転いたしました。同会館は、昨年より保安教育講習会の会場として利用している福岡県自治会館に近接しており、また、平素から当協会の運営等に格別のご支援、ご協力をいただいている福岡県庁にも至近の場所であり、これからの協会活動の拠点として機能させてまいりたいと考えております。

さて、昨年※の火薬類関係事故は、全国で40件発生し、そのうち産業火薬の事故は7件、煙火は19件及びがん具煙火が14件となっております。福岡県内においても、煙火の事故1件（負傷者2名）が発生しています。会員の皆様におかれましては、今後も引き続き事故を防止するため、継続的に保安教育を実施いただき、法令遵守はもとより安全管理体制の構築に努めていただきますよう、お願い申し上げます。※令和6年11月末時点

当協会といたしましても、火薬類の保安の確保、安全・安心な利用を促進するため、皆様のご協力を仰ぎながら、各種講習会の開催、巡回指導などの活動に取り組む所存でございますので、皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって良い年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年火薬類危害予防週間ポスターから

「基本の積み重ねで、事故ゼロへ！」